## 再評価結果 (平成22年度事業継続箇所)

担<u>当課:道路局地方道·環境課</u>担当課長名:吉崎 収

広島中央フライトロード 事業名 地域高規格道路 事業 地方道 事業 広島県 主要地方道 本郷大和線 区分 主体 自:広島県三原市本郷町善入寺 起終点 延長 至:広島県三原市大和町大草 10. Okm 事業概要 広島中央フライトロードは、広島県臨空都市圏北部地域の大動脈としての機能だけでなく、山陽自動車道河 内インターチェンジから広島空港、中国横断自動車道尾道松江線を連絡する、中国地方の高速交通体系の一翼 を担う地域高規格道路である。主要地方道本郷大和線は、このうち延長約10.0kmの4車線(暫定2車線)道路 <u>である。</u> H7年度事業化 |都市計画決定 なし 約800億円 事業進捗率 | H 7 年度用地着手 │ H7年度工事着手 約72% 供用済延長 全体事業費 2 km 計画交通量 19, 400台/日 総費用 総便益 (残事業)/(事業全体) 基準年 」 平成 2 1 年 B/C 費用対効果 (残事業)/(事業全体) (事業全体) 924/924億円 分析結果 120/861億円 業 費:116/856億円 *(*走行時間短縮便益:743/743億円 1. (残事業) 維持管理費: 4.8/4.8億円 走行経費減少便益:130/130億円 交通事故減少便益:51/51億円 残事業について感度分析を実施 感度分析の結果 : B/C=9. 2(交通量 +10%) -10%交通量変動 B/C=6.2(交通量 : B/C=7.0 (事業費 事業費変動 +10%B/C=8.5 (事業費 -10%事業期間変動: B/C=6.5 (事業期間+20%) B/C=9.1 (事業期間-20%) 事業の効果等 ・圏域内並びに他圏域との連携の強化 ・広島県臨空都市圏北部地域の大動脈として広島空港に直結し、 本地域のポテンシャルを高める。 ・国土・地域ネットワークの構築(地域高規格道路整備区間指定 豊田郡本郷町~賀茂郡大和町 H7.4 関係する地方公共団体等の意見 合併建設計画及び合併支援道路に位置づけられており、三原市及び三原市など5市1町の首長等で構成され る広島空港北アクセス道路(広島中央フライトロード)推進協議会より早期整備の要望を受けている 事業評価監視委員会の意見 ・事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施は妥当である。 ・広島県知事の方針:委員会の意見を受け、事業継続とした 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 三原市は平成17年3月に本郷町,久井町,大和町と合併 事業の進捗状況、残事業の内容等 平成7年度に事業化され、事業進捗率約72%となっている。 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得は完了している。今年度は(仮称)空港大橋床版工工事やトンネル設備工工事が着工予定であり、 <u>今後は平成22年度末の暫定2車線供用を目指し,進捗を図る。</u> 施設の構造や工法の変更等 (仮称)空港大橋の床版形式を変更して、コスト縮減を図っている。建設発生土について現場内流用はもと より他工事への流用を図っている <u>対応方針 事業継続</u> 対応方針決定の理由\_\_\_\_ 以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると、 - 以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると、 事 (主)本郷大和線 L=10.0km (広島中央フライトロード) 鳥取県 業 概 中国横断自動車道 要 道松江網 図 微質自動 Ã 東広島市 三原市 (旧大和町) 事業箇所 瀬戸内海

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。